

保護者等からの放課後等デイサービス事業所評価の集計結果(公表)

公表:令和 4 年 3 月

事業所名 ひまわりらんど和白センター放課後等デイサービス 保護者等数(児童数) 17 回収数 15 割合 88 %

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた 対応
環境・ 体制整備	1 子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	15	0	0	0	高い天井や窓、開放感があり子供も楽しく通えています。	新型コロナウイルス感染防止の努め、十分なスペース確保。除菌を実施。
	2 職員の配置数や専門性は適切であるか	15	0	0	0	今後も、定期的にはリハビリをお願いします。	各種専門職も配置しております。是非ご利用ください。
	3 事業所の設備等は、スロープや手すりの設置などバリアフリー化の配慮が適切になされているか	15	0	0	0		玄関には手すり、スロープ設置。室内バリアフリーです。
適切な 支援の 提供	4 子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画*1が作成されているか	15	0	0	0		初回面談時や、担当者会議等で課題分析し相談員が作成したサービス等利用計画書に沿って作成しています。
	5 活動プログラム*2が固定化しないよう工夫されているか	15	0	0	0		一人一人の特性に合った活動を目指しています。
	6 放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか	1	2	5	7		新型コロナウイルス感染防止対策のため、今年度は外部交流を控えておりました。
保護者 への 説明等	7 支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	15	0	0	0		ご不明な点等は、いつでもご相談ください。
	8 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解ができているか	15	0	0	0		連絡ノートを通じ、日常の活動内容やその様子をお伝えしています。
	9 保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	15	0	0	0		送迎の際に、お話をさせて頂いています。個別相談もお気軽に対応いたします。
	10 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか	10	0	1	4	毎年の年末忘年会を家族で楽しみにしています。他のお母さん達とも話せる機会があり嬉しく思います。	コロナ終息した際に、また交流会を開催できましたら是非ご案内申し上げます。
	11 子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知・説明し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	15	0	0	0		希望・要望を貴重なご意見と受け止め、その後の事業運営に反映させていきたいと思っております。
	12 子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	15	0	0	0		連絡ノートを通じ、日常の活動内容やその様子をお伝えしています。
	13 定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信しているか	15	0	0	0		毎月、イベント(活動)予定表を配布しています。季節ごとの行事にも触れながら活動しています。
非常時 等の 対応	14 個人情報に十分注意しているか	15	0	0	0		秘密保持に関する誓約書の作成。細心の注意を払っています。
	15 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、保護者に周知・説明されているか	15	0	0	0		今後、マニュアル検討した際にも、都度お伝えしていきたいと思っております。
満足 度	16 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	15	0	0	0	行事予定表に記載しており、子供の意識付けに役立っています。	年2回以上の防災・避難訓練実施。
	17 子どもは通所を楽しみにしているか	15	0	0	0	毎月、季節の行事も盛り込まれており、子供も楽しみにしています。	今後も、楽しく有意義な時間の提供に努めます。
	18 事業所の支援に満足しているか	15	0	0	0		希望・要望はいつでも遠慮なくご相談ください。

\*1 放課後等デイサービスを利用する個々の子どもについて、その有する能力、置かれている環境や日常生活全般の状況に関するアセスメントを通じて、総合的な支援目標及び達成時期、生活全般の質を向上させるための課題、支援の具体的な内容、支援を提供する上での留意事項などを記載する計画のこと。放課後等デイサービス事業所の児童発達支援管理責任者が作成する。

\*2 事業所の日々の支援の中で、一定の目的を持って行われる個々の活動のこと。子どもの障がい特性や課題、平日/休日/長期休暇の別等に応じて柔軟に組み合わせることで実施されることが想定されている。

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公表)

公表:令和 4 年 3 月

事業所名 ひまわりらんど和白センター放課後等デイサービス

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	改善目標、工夫している点など
環境・ 体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	9	0	0	運動や個別活動の十分なスペースを確保しつつ、児童全員が常に指導員の目が行き届くような環境づくりを行っています。
	2	職員の配置数は適切である	9	0	0	各専門職員を配置しております。また、個別リハビリご希望の方はお気軽にご相談ください。
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている	9	0	0	館内バリアフリー、トイレに手すり設置。玄関もスロープですので、車いすの方でも安心してご利用できます。また、感染防止対策にてシャワー増設。
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	5	3	1	事業所内に掲示し、周知徹底しております。
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	9	0	0	保護者からのご意見・要望を共有し、業務改善に努めています。
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	9	0	0	弊社ホームページをご覧ください。
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	0	0	9	今後、改善検討予定。
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	9	0	0	年次研修計画を策定し、定期的に内部・外部研修会に積極的に参加し、知識を深め自己のスキルアップを図っています。
適切な 支援の 提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	9	0	0	保護者からのアセスメントや、相談支援専門員の作成するサービス等利用計画書に沿って児童のできること(強み)を引き出し、さらに伸ばし自信を持って過ごせるような計画書作成を目指しています。
	10	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	9	0	0	標準アセスメントシートを使用し、一人一人の課題分析を行っています。
	11	活動プログラムの立案をチームで行っている	9	0	0	児童発達支援管理責任者を中心に進めています。
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	9	0	0	季節毎のさまざまなイベントを折り込みながら行事(活動)予定を作成し、できることを延ばせるような療育に努めています。
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	9	0	0	児童発達支援管理責任者を中心に進めています。
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している	9	0	0	一人ひとりの特性に応じた、支援の方向性を細かに決め日々の療育に努めています。また更に、その日の体調や表情を見ながらプログラムを実施・変更することもあります。
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	9	0	0	日々の役割分担を全員へ周知し、安全な業務の遂行を行っています。
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	9	0	0	終礼や業務日誌にて引継ぎを行っています。
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	9	0	0	記録の重要性を周知しています。
	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	9	0	0	6ヶ月に1回以上定期的に行っています。また状況変化等による見直し等が必要な際には、都度計画原案の見直しを行い、その内容について支援会議を開催しています。
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ合わせて支援を行っている	9	0	0	児童発達支援管理責任者を中心に進めています。

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	改善目標、工夫している点など
関係機関 や保護者 との連携	20 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	9	0	0	児童発達支援管理責任者を中心に進めています。
	21 学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っている	9	0	0	管理者を中心に進めています。
	22 医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている	0	9	0	そのような対象の方がおらず、また現時点での受入れ体制も構築できていないため難しい状況です。
	23 就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている	4	4	1	必要時に努めたいと思います。
	24 学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している	9	0	0	特に同法人への障がい福祉サービス事業所へ移行の際は、事業所間で情報共有できるよう努めております。
	25 児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	0	0	9	外部研修会へ参加予定。
	26 放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある	9	0	0	地域でのイベントへ参加し定期的に交流しておりますが、ただ一昨年度からは新型コロナウイルス感染防止にて交流する機会は設けていません。
	27 (地域自立支援)協議会等へ積極的に参加している	1	0	8	
	28 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	9	0	0	送迎時や連絡ノートで、利用時の活動の様子や学校からの伝達事項等、ご家族へお伝えしています。必要時には相談支援専門員へも繋いでいます。
	29 保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている	5	3	1	保護者からご相談があった際は、助言等行いながら一緒に共通認識を持ち、統一した支援を行うようにしています。
保護者への 説明責任等	30 運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	3	3	3	保護者からの相談窓口をひとつに、さまざまな問いに關しましては管理者へ繋ぎ都度対応しております。
	31 保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	2	4	3	保護者からご相談があった際は、助言等行いながら一緒に共通認識を持ち、統一した支援を行うようにしています。必要時には相談支援専門員へも繋いでいます。
	32 父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	9	0	0	毎年、年末(12月)に全児童・保護者及びそのご家族様と親睦を深めるために会を開催しています。(本年も12/28に開催)
	33 子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	9	0	0	苦情相談窓口を設け、早急な解決に努め対応しています。
	34 定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	9	0	0	毎月毎に、イベント予定表を発行しています。
	35 個人情報に十分注意している	9	0	0	秘密保持の誓約書を職員全員と交わしています。また、パソコンやUSB等によるデータの持ち出し禁止を周知徹底しています。
	36 障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	9	0	0	それぞれの家庭環境、状況に応じ連絡の手法を変え配慮しています。
	37 事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	0	9	0	今後、改善検討予定。

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	改善目標、工夫している点など
非常時 等の 対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	9	0	0	各種マニュアルを事業所内の閲覧できる場所へ置き、いつでも見れる状況で周知しています。また、年次研修計画を策定し定期的に内部研修会に参加し職員の質の向上にも努めています。
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	9	0	0	年2回以上の避難・誘導訓練を実施し、非常時に対応できるよう日頃より防災意識を高めています。津波警報にも注意してまいります。
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	9	0	0	虐待防止、身体拘束廃止についてさまざまな研修会に参加し理解を深めています。
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	9	0	0	重要事項説明書へ記載しており、契約時に保護者へ説明を行っています。現在、そのような状況に至ったことはありませんが、日々の支援日誌へも身体拘束しない旨の確認項目を設けております。マニュアル検討会でも周知し今後も適切な対応に努めていきたいと思っております。
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	9	0	0	初回アセスメント時に、食物アレルギーや禁忌食材等をききとり注意し支援を行っています。服薬管理も同じく実施。
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	9	0	0	事前にリスク管理の内部研修を行い、転倒や事故に十分注意しながら支援を行っています。